

# 中国街道・尼崎から甲子園までを歩く

第 95 回武庫川エコハイイク

20150314 エコグループ・武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

**中国街道** 大阪と尼崎、西宮を結ぶ江戸時代の主要街道、大阪高麗橋を起点として神崎を経由して尼崎城の南を抜け、南部の新田開発地域を通り、西宮で旧西国街道に合流する。昭和元(1926)年現国道が開通後は「旧国道」と呼ばれる。

**尼崎** 「海女が住む崎」の意という。

**阪神尼崎駅** 阪神電鉄の駅。明治 38(1905)年神戸～大阪間開通時に開業。国鉄線は官設として明治 7(1874)年開業している。今の尼崎駅は神崎駅と呼ばれた。

**庄下川(しょうげがわ)** 淀川水系猪名川の支流、1 級河川。昭和 30 年代には汚染で有名な川であったが、下水道整備等行政・市民の努力で改善された。一部に武庫川の水も流入。

**尼崎城** 元和 4(1618)年、譜代大名戸田氏鉄(5 万石)が築城。海に面して美しい姿を見せていたので琴浦城といった。後に青山氏、松平氏が治めた。

**高潮被害標識** 昭和 9 年室戸台風、昭和 25 年ジェーン台風時の高潮被害の水位標識が尼崎中央公園にある。

**寺町** 尼崎築城と同時に城の西側に寺を集め寺町を作った。現在は 11 ヶ寺が残る。文化財の多い本興寺(法華宗の大本山、開山堂他国の指定文化財)、長遠寺(じょうおんじ・日蓮宗の寺、本堂他国の指定文化財)、秀吉伝説の残る広徳寺(臨済宗の寺)などがある。

**秀吉伝説** 広徳寺には秀吉伝説が残る。本能寺の変のとき中国から急ぎ京に戻る途中、兵とはぐれ明智方に追われ広徳寺に逃げこみ僧に化けて難を免れた、と。

**貴布禰(きふね)神社** 祭神は高麗神(たかおかみ)で雨乞いの神様、京都貴船神社と同じ。尼崎城築城とともに正徳 5(1715)年現在地に移る。尼崎城主の代々御祈願所となる。

**出屋敷** このあたりは一面「尼いも」の畑、尼崎城築城時、町人の町場となる。終戦後は闇市として栄え、今は三和商店街となる。竹谷小学校は草競馬場だった。

**中国街道の道標** 中国街道が西に曲る所に弘化元年の道標がある。

**蓬川(よもがわ)と蓬川の渡し** 武庫川水系の 2 級河川。川辺郡と武庫郡の境、明治 40 年まで渡しがあった。東岸は中山道、西岸は甲山道の参詣道。

**琴浦神社** 嵯峨天皇皇子源融公が祭神。この浜から潮水を運び塩を作った。

**子安地蔵尊** 漂着したお地蔵さんを祀る、木造の地蔵尊は珍しい。

**尼崎競艇場(センタープール)** ジェーン台風の災害復旧費に当てるため、大庄湿地帯に競艇

場を誘致して完成したのがセンタープールである。

**大庄(おうしょう)小学校** 明治9(1876)年創立。一部にゴシック建築様式が見られる。

**大庄村道路元標** 大庄小学校内にある。大正時代に各村に設置された。

**旧大庄村役場(大庄公民館)** 昭和 13(1938)年大庄村役場として建設、村野藤吾の設計でモダニズム溢れる建築。現在は大庄公民館。国の登録有形文化財。

**雉ヶ坂伝承地** 本能寺の変の時秀吉が中国攻めから京に戻すとき、ここに至り、雉が飛び立つを見て伏兵ありと進路を変えたという。

**西素盞鳴神社** 祭神は素盞鳴尊、尼崎の武庫川沿いにすさのお神社が 10 社ある

**楠霊(なんれい)神社** 樹齢 200 年を越すクスノキの大木がご神体。

**西新田の渡し(小松の渡し)** 尼崎の西新田と西宮の小松を結ぶ渡し。

**潮止堰** 塩水の遡上を防ぎ付近の地下水への塩分侵入を防止するために平成 4(1992)年に設置された。生物環境、治水上の問題が指摘され廃止を検討中。

**西宮** 式内社広田神社の南宮の戎社を鳴尾の人が西宮と呼んだ説がある。

**旧武庫川線** 戦時中軍需工場のあった鳴尾浜と西ノ宮駅を結ぶ国鉄線、戦後廃止され、阪神電車が一部を譲り受け武庫川駅と武庫川団地前駅とを結ぶ。

**岡太神社(おたじんじや)**この地区を開拓した岡司氏が廣田神社のお告げにより建立したことから「おかしの宮」ともいう。境内に菌神さんがある。秀吉が中国返してここに来たとき敵将が組み伏し首を討とうとした時、口にくわえた刀を歯が悪く取り落とし失敗した。この将を祀る。

**尼崎領界碑** 岡太神社境内に尼崎領の標石がある。

**岩見重太郎伝説と一時上臈** 岩見重太郎が女装して長持ちの中に隠れてヒビを退治した伝説に因み、女装した男性がお供えを備えるしきたりが残っている。

**鳴尾** 傾斜の緩やかな地である「ナル」に武庫川の河口の「ヲ」がついたという。

**鳴尾一本松** 平安時代から歌に詠まれた鳴尾の一本松は樹齢千年に及ぶといわれ朝日があたるとその影は須磨の一の谷まで、夕日が当たると奈良県境の暗がり峠まで達したという。現在は 5 代目の松。

**鳴尾八幡神社** 鳴尾地区の総鎮守、砂浜大神、琴比羅神などを祀り海岸にあった。

**枝川跡** 弘治3(1557)年の武庫川の堤防を破った洪水で枝川、更に元文 5(1740)年枝川堤防を破り申川が出来た。国道 2 号線建設と武庫川改修の費用捻出のため廃川とされ、大正 12(1923)年埋立工事が竣工し阪神電車に払い下げられ、住宅地、スポーツレクリエーション施設を開発した。甲子園球場、旧阪神パークなどもその一つ。

**六石の渡し** 中国街道が枝川を渡る地点に六石の渡しがあった。両岸に茶店が並び賑わったという。餅が名物で一日六石を搗いたということから「六石の渡し」といわれた。

**甲子園球場** 甲子園球場は大正 13(1924)年、枝川と申川の分岐近くに建設された。この年が干支の甲子(きのえね)に当たるため甲子園と命名された。甲子園球場と甲子園駅の間の東西にはかつての堤防跡の松並木が残る。

**甲子園素盞鳴神社** 素盞鳴尊を祀る、枝川と申川の三角州にあった。阪神タイガース神社として有名。